

きりしまつつじ霧島山ニ無クうんぜんつつじ温泉岳ニ産セズ

## ○きりしまつつじ霧島山ニ無クうんぜんつつじ温泉岳ニ産セズ

牧野 富太郎

つつじ類ノ中ニ然ルガ如キ赤キ花ヲ開クさりしまつつじ (Rhododendron obtusum PLANCH. || *R. indicum* SWEET var. *obtusum* MAXIM. || *Asclepias obtusa* LINDL.) ノ之アルコトハ誰レモ彼レモ知ツテ居ル又つつじ類ニ嗜好ガアツテ多少其品類ニ精通シタル人々ハ亦其つつじ類ノ一種ニうんぜんつつじ (Rhododendron serpyllifolium MIE. || *Asclepias serpyllifolia* A. GRAY.) ノアル事ヲ知ツテ居ルデアロウ此さりしまつつじノさりしま又うんぜんつつじノうんぜんモ共ニ九州ノ地名デ即チ山ノ名デアルカラ此二ツノつつじハ多分其山ニ生ジテ居ルモノト誰モ合點スルデアロウソコデ手近カニアル大概先生ノ「言海」ノ様ナ書物デ早速引テ見ルト果シテさりしまつつじハ『日向ノ霧島山ヨリ出ヅ』トアリ又うんぜんつつじモ『初メ肥前ノ温泉岳ニ出ヅ』トアル此ンナ有様故此等ノ書物ヲ机上ニ重ネテつつじ類ノ話ヲ試ミタリ又書イタリスル人々ハ矢張其書物通リノ説ヲ承ケ賣テ人ニ説キ聞カスノデアル時ニヨルト堂々タル植物専門ノ博士先生デモ右ノ通りニ書イテ世人ニ聞カシタコトガ三四年前ニアツタコトヲ私ハ覺エテ居ル然シ實際ハ此説ハさりしまつつじノ方モうんぜんつつじノ方モ兩方共全然誤マツテ居ツテさりしまつつじハ決シテ日向ノ霧島山ニハ生ジテ居ナク又一方ノうんぜんつつじモ決シテ肥前ノ温泉岳ニハ産シテ居ナイ

マードウシタラソナ大膽ナコトガ言ヘルカト云フトソレハ實地ニ其山々ヲ踏査シテ其實際ノ有様ヲ明カニシタ事實ヲ基トシテ此斷定ヲ下シタカラデアル私ハ此さりしまつつじガ霧島山ニ産シうんぜんつつじガ温泉岳ニ産スルト傳ヘラレテアル事實ノ眞偽ヲ確カメンガ爲メニ數年間ニ互ツテ九州ノ山々ヲ實地ニ探グツタノデアルトコロガ日向ノ霧島山ニハさりしまつつじノナイコトガ實檢セラレタ又肥前ノ温泉岳ニハ同様うんぜんつつじ



みやまざりしす (縮圖) (原圖)



ざりしまつづじ (縮圖) (原圖)

*Rhododendron kiusianum* Makino.*Rhododendron obtusum* Planch.

ざりしまつづじ霧島山ニ無クらんぜんつづじ温泉岳ニ産セズ

ノナイコトが見極メラレタ  
然レバ此レ等兩山ニ之レニ似タつづじハナイカト云フ  
トソレハアルアルハアルガ然シ全ク別種ノ品種ナノデ  
アル霧島山ノ山頂ニアルつづじモ温泉岳ノ山上ニアル  
つづじモ共ニ同一種デアツテ決シテ別ノ品デハナイ其  
他九州ノ高山頂ニアル細葉蟠枝ノつづじハ皆同一種デ  
アツテ即チ肥後ノ阿蘇山ニモ豊後ノ九重山(往時MANI-  
NOWICZ氏ガ植物ノ探集ニ上ツタ山デ同氏ノ記文ノ中ニ  
Kindslo-sanトアルガ是レデアル)ニモ見ラルル此つづ  
じハ枝ハ蟠屈シ葉ハ細密デチョット見タトコロデハさ  
りしまつづじニモうんぜんつづじニモ似タ所ハアルガ  
決シテ其品種デハナイ温泉岳デハ殊ニ能ク發育シテ其  
數モ多クマルデ築山ヲ見ル様ナ處ガアル其石礫磊落タ  
ル處ニ生ズルモノニハ其ノ根ハ浮根松ノ根ノ様ニナリ  
高サ僅カ數寸デ花ヲ開クモノガアツテ盆栽トセバ頗ル  
雅趣ニ富ンダモノガ出來ルデアラウト思ツタ花ハ紅紫  
色デ恰ド世間ニ多キむらさきざりしす(*Rhododendron*  
*obtusum* PLANCH. var. *amoenum* REHD. = *Rhododendron*  
*amoenum* PLANCH. = *Arden amoena* LINDL.)ノ様ナ色ヲ

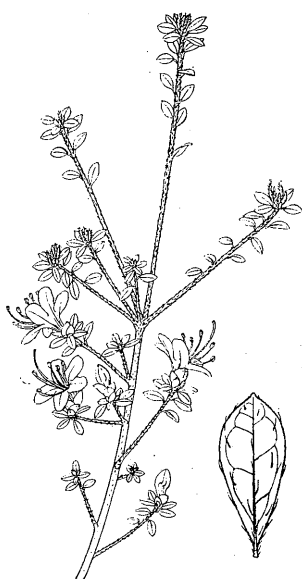
きりしまつつじ霧島山ニ無クうんぜんつつじ温泉岳ニ産セズ

呈シテ居ル其レ故マキシモキツチ氏ハ曾テひらさきさりしまノ一品トシタコトガアッタ花ハ樹ニヨリテ非常ニ  
大小ノ差ガアツテ山嶺若シクハ礫礫ノ處ニ生ジテカジカマツテ居ルモノハ葉モ極メテ細ヤカク花モ亦甚ダ小形  
デアル

此様ナ築山式ノつつじヲ何ンデ眼ノ鋭キ植木屋ガ見逃ガソウ私ハ彼ノ有名ナ久留米つつじノ親ハ蓋シ始メ實ニ  
此品ヲ九州ノ高山カラ探リ來ツテソレヲ改良發達サセタモノデハナイカト以爲フ久留米つつじガアノ様ナ姿勢  
ニ作ラレテアルノハ原ト其天然ノ木振ガ影響シタモノデドウシテモアナラナケレバナラヌノデアル私ハ早晚  
精シク之ヲ研究シテ見タイト思ツテ居ル

此九州高山上ノつつじニハ適當ナ名稱ガナイカラ私ハ先ニ之レニ新和名ヲ下シテみやまきりしまト呼ンダ又私  
ハ其學名ヲ *Rhododendron kiusianum* MAKINO. ト定メテ發表シテ置イタツシテ此みやまきりしまハ全ク九州ノ  
特産デアツテ決シテ其他デハ見ラレナイ即チ四國ニモ中國ニモ何處ニモ野生シテ居ル處ガナイ又九州デハ不思

うんぜんつつじ(縮圖) (原圖)



*Rhododendron serpyllifolium* Miq.

議ニモ之レヲ人家ノ庭園ニ栽エテ居ナイ私ハタダ僅ニ  
薩州鹿兒島ナル島津侯ノ「磯ノ御殿」ノ庭園ニ少々植エ  
テアツタコトヲ見タノミデアル其處ニハ大層能ク庭石  
ノ傍ニアリ付イテ繁茂シテ居ツタ

鹿兒島灣ニ聳ユル櫻島ノ山頂ニモ此つつじダロウト想  
フ者ガアツタガ大正三年一月ノ噴火ノ時降灰ノ爲メ或  
ハ枯死シハシナカッタカト心配シテ居ル

さりしまつつじノさりしまハ無論霧島山ノ霧島カラ出  
タモノ又うんぜんつつじノうんぜんモ是レ亦温泉岳ノ

温泉<sup>ウシジ</sup>ヨリ出タモノナルコトハ事實デアルガ然シ今日稱スル所ノきりしまつつじハ全ク霧島山ニハ之レナク又今日稱スル所ノうんぜんつつじモ全ク温泉岳ニハ産シナイ畢竟ズルニ孰レモ其葉ガ細カク其樹ガ小ブリデ其花ガ亦小サクテ相似テ居ル所カラコンナ混雜ガ起ツタノダロウト思フ即チ今日言フ所ノきりしまつつじガみやまきりしまニ似テ居リシ所カラ同品ト思フテきりしまつつじト云ヒ出シ又今日言フ所ノうんぜんつつじガ是レ亦みやまきりしまニ木ブリ葉ブリ花ブリガ省テ居ル所カラ温泉岳ニアルみやまきりしまト同一ト速斷シテ遂ニ此訛リヲ生ミ出シタモノデアロウト想フ即チ今日デハ世ニ言フきりしまつつじハ少シモ霧島山ト縁ガナク又一方ノうんぜんつつじ(今日世間ニ云フ)モ全ク温泉岳ト縁ガナイコトガ判然シテ來タノデアル然シ尙一般世人ハ此事實ヲ知ラズニ居ルコトガ普通デアル

今言フきりしまつつじノ原產地ハ今日デハ全ク不明デアル明治四十一年九月七日私ハ之レヲ肥前五島中ノ福江島ニ得タト喜ンデ見タガソレハホンノ一時ノ糖喜ビデアツテ其後間モナク田代善太郎君ノ厚意デ其花ガ手ニ入ツテ見ルトソレガきりしまつつじデナイコトガ分リ私ハ甚ダ失望シタ即チ同島玉の浦ノ無線電信局附近ニ自生スルつつじガ其葉ニ光リガアツテ圓クテ極メテ能クきりしまつつじノ葉ニ似テ居ッタモノデアルカラ私ハ全クソウダト化<sup>バカ</sup>サレテ居ッタガ花ヲ見ルニ及ンデ始メテ其レガ誤リデアッタコトガ知レタソシテ其品ハきりしまつつじノ一種デ我邦デハ一新品デアッタカラ失望ノ中ニモ多少ノ喜ビハアッタノデアル所謂之ヲ東隅ニ失シテ之ヲ桑榆ニ收メタ形チデアッタ之ヲさるばさつきト稱スル

今日世人ノ言フうんぜんつつじハ其紫花ノモノハ伊豆ノ産デアツテ能ク盆栽ニセラレテ居ル又紀州ニモ産スル花ハ枝頭ニ一個ヅツ出デ葉ハ細密デアル此一變種ニ白花品ガアツテ關西地方諸州ノ山中ニ生ズルガ葉モ枝モ之ヲ紫花品ニ比スレバ疎デ其觀賞上ノ品位ガ紫花ノモノヨリハ劣ツテ居ル之ヲしろばなうんぜんつつじト稱シ學名ハ *Rhododendron serpyllifolium* Miq. var. *albiflorum* MAKINO. デアル